

目次

卷頭言——『全国木簡出土遺跡・報告書総覧』刊行に寄せて——……………小林昌二……………1

目次…………………………111

凡例…………………………viii

二〇〇三年出土の木簡…………………………1

概要	山本 崇	1	京都・鳥羽遺跡・鳥羽離宮跡	尾藤 徳行	32
奈良・平城京跡左京三条三坊十一坪	三好 美穂	7	京都・東福寺常楽庵庫裏	川嶋 一雄	35
奈良・平城京跡右京北辺	佐藤 亜聖	8	京都・中世勝龍寺城跡	岩崎 誠	36
奈良・平城京跡右京四条二坊二坪	篠原 豊一	10	大阪・難波宮跡(1)	積山 洋・古市 晃	38
奈良・法華寺	山本 崇	12	大阪・難波宮跡(2)	江浦 洋	39
奈良・旧大乗院庭園	馬場 基	13	大阪・大坂城跡	島内 洋二・江浦 洋	43
奈良・藤原京跡	露口 真広・平岩 欣太	14	大阪・九頭神遺跡	西田 敏秀・下村 節子	49
奈良・石神遺跡	竹内 亮	19	大阪・奈良井遺跡	村上 始	50
奈良・飛鳥寺南方遺跡	市 大樹	29	大阪・玉櫛遺跡	駒井 正明	52
	市 大樹	29	大阪・久宝寺遺跡	坪田 真一	53

兵庫・兵庫津遺跡	菱田淳子	55	埼玉・神明遺跡	中島洋一	107
兵庫・玉津田中遺跡	中川渉	59	埼玉・北島遺跡(第一九地点)	田中広明	111
兵庫・北村廃寺	村上泰樹	60	長野・松本城下町跡六九	太田万喜子	115
兵庫・有岡城跡・伊丹郷町遺跡	西口圭介	61	長野・松本城下町跡宮村町	太田万喜子	120
兵庫・明石城武家屋敷跡	稲原昭嘉	62	栃木・樺崎寺跡	板橋稔	121
兵庫・対中遺跡	深井明比古	73	福島・荒田目条里制遺構	木幡成雄	125
兵庫・入佐川遺跡	中村弘	74	福島・門田条里制跡	石田明夫	126
愛知・清洲城下町遺跡	鈴木正貴	75	福島・東高久遺跡	石田明夫	127
愛知・大毛沖遺跡	永井宏幸	82	福島・荒井猫田遺跡	高田勝	129
静岡・土橋遺跡	松井一明	84	福島・河股城跡	井上浩光	133
神奈川・北条泰時・時頼邸跡	鈴木弘太	85	宮城・仙台城跡(二の丸地区)	柴田恵子	135
神奈川・永福寺跡	鈴木絵美	87	宮城・竹ノ内遺跡	村田晃一・吉野武	140
神奈川・佐助ヶ谷遺跡	降矢順子	90	宮城・市川橋遺跡	武田健市	141
東京・水戸藩徳川家小石川屋敷跡(春日町遺跡第Ⅶ地点)	加藤元信	94	宮城・長徳寺前遺跡	川又隆央	144
東京・旗本岩瀬家屋敷跡(新諏訪町遺跡)	加藤元信	96	山形・古志田東遺跡	手塚孝・月山隆弘	145
東京・竜泉寺町遺跡	小俣悟	98	山形・大在家遺跡	井田秀和	150
東京・台東区No.68遺跡	小俣悟	101	山形・山形城跡	五十嵐貴久	151
東京・馬場下町遺跡	小野真美	103	秋田・新谷地遺跡	長谷川潤一	153
埼玉・元町二丁目遺跡	田中信	105	秋田・龍門寺茶畑遺跡	高橋学	155
			秋田・観音堂遺跡	山崎文幸	157
			青森・新田(一)遺跡	木村淳一	158

一九七七年以前出土の木簡(二六)

青森・津軽氏城跡・弘前城跡	岩井浩介	162	岡山・鹿田遺跡	岩崎志保	200
石川・本町一丁目遺跡	前田雪恵	166	広島・尾道遺跡(KG〇七地点)	宮本一輝	202
石川・金石本町遺跡	小西昌志	167	山口・周防国府跡	原田光朗	203
富山・桜町遺跡	塚田一成	169	山口・長門国分寺跡	濱崎真二	204
富山・石名田木舟遺跡	栗山雅夫	171	山口・長門国府跡(宮の内地区)	中原周一	206
富山・井口城跡	上野章	172	徳島・徳島城下町跡	勝浦康守	207
富山・小杉流通業務団地No.20遺跡	酒井重洋	174	徳島・観音寺遺跡	氏家敏之	211
富山・中名VI遺跡	内田亜紀子	175	徳島・敷地遺跡	大橋育順	212
富山・任海宮田遺跡	武田健次郎	176	香川・高松城跡(1)(東ノ丸地区)	古野徳久	217
富山・願海寺城跡	古川知明	177	香川・高松城跡(2)(丸の内地区)	古野徳久	218
富山・水橋金広・中馬場遺跡	安達志津	179	香川・高松城跡(3)(松平大膳家中屋敷跡)		
富山・小出城跡	稲垣裕二	181			
新潟・下前川原遺跡	遠藤恭雄	182	福岡・雨窪遺跡群	大嶋和則	220
新潟・道端遺跡	田中一穂	185	福岡・小倉城跡	飛野博文	223
新潟・青田遺跡	田中一穂	187	福岡・在自西ノ後遺跡	梅崎恵司	224
鳥取・米子城跡21遺跡	中森祥	189	佐賀・牟田口遺跡	田上浩司	229
鳥取・米子城跡	佐伯純也	192	長崎・炉粕町遺跡(長崎奉行所立山役所跡)	中野充	232
鳥取・才ノ峠遺跡	平石充	193			
鳥取・青木遺跡	今岡一三・平石充	194	熊本・北島北遺跡	川口洋平	233
				坂口圭太郎	236

奈良・平城宮跡

渡辺晃宏 238

秋田・弘田柵跡

高橋学 241

釈文の訂正と追加(七)

奈良・山田寺跡(第五・二二・二三号)

竹内亮 247

広島・安芸国分寺跡(第二四号)

兵庫・宮内黒田遺跡(第二二号)

小寺誠・鈴木景二 252

渡邊昭人・関広尚世

岐阜・弥勒寺西遺跡(第二五号)

田中弘志 253

佐竹昭 254

中央アジア出土のチベット語木簡——その特徴と再利用——

館野和己・武内紹人

木に記された暦——石神遺跡出土具注暦木簡をめぐって——

竹内亮

文字の形と語の識別——「参」の二つの字形——

桑原祐子

書評 平川南著『古代地方木簡の研究』

鐘江宏之

新刊紹介 木簡学会編『日本古代木簡集成』

武田和哉

彙報

吉江崇

編集後記

館野和己

英文目次

コラム

平安時代の俵の札のはなし……………(鈴木 景二)……………

新たに釈読された陸奥国荷札木簡……………(馬場 基)……………

木片の調達環境と木簡……………(酒井 芳司・馬場 基)……………

『全国木簡出土遺跡・報告書総覧』の刊行……………(山本 崇)……………

会 告……………

「平城宮・京跡の木簡の保存を訴える緊急アピール」について……………

334 258 231 152 110

図版

- 一 石神遺跡出土木簡(一)
- 二 石神遺跡出土木簡(二)
- 三 東福寺常楽庵庫裏出土木簡
- 四 平城宮跡出土木簡